

Fixrグラウンドアンカー工法

建設技術審査証明 (砂防技術) 技審証第1801号 特許番号: 第6037253号 NETIS登録番号: OK-170003-A

高耐食

水没する斜面における対策 (三重県)



高耐力

鉄道での斜面对策 (福島県)



荷重調整機能

地すべり対策 (新潟県)

点検性

高所の岩盤崩壊対策 (長野県)



道路より30m

Fixrグラウンドアンカー工法

建設技術審査証明 (砂防技術) 技審証第1801号 特許番号: 第6037253号 NETIS登録番号: OK-170003-A

高耐食

水没する斜面における対策 (三重県)



高耐力

鉄道での斜面对策 (福島県)



荷重調整機能

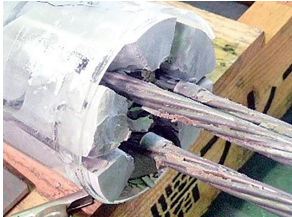
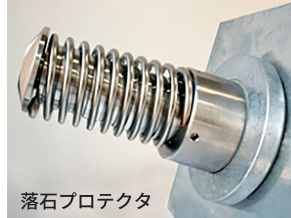
地すべり対策 (新潟県)

点検性

高所の岩盤崩壊対策 (長野県)



✓ Fixrグラウンドアンカー 5つの優位性

	従来アンカー	Fixrアンカー
高耐食	補修サイクル 15年程度※1  鋼材はグリス、シーリングで防食	補修サイクル 50年程度  SUS材、ECFなど耐食性材料のみで構成（防食構造Ⅲ相当※2）
高耐力	付着強度 $\tau_b = 1.03\text{N/mm}^2$ ※3  アンカー体の付着切れ※4が生じやすい	付着強度 $\tau_b > 2.07\text{N/mm}^2$ ※3  スパイラル筋で補強し、付着強度大
荷重調整機能	荷重調整範囲 小  過緊張の場合など除荷が困難となる場合がある	荷重調整範囲 大  インナーネジにより、過緊張時の除荷も容易
点検性	点検効率 低  キャップを外さないと定着状況を点検できない	点検効率 高  キャップレス仕様では定着具を概観目視できる
トータルコスト	トータルコスト 1.00※5 50年間のトータルコスト比	トータルコスト 0.8~0.9程度※5 50年間のトータルコスト比

建設技術審査証明で高腐食環境下の長期耐久性（防食構造Ⅲ相当※2）が認められているのは本工法だけ※6です！

※1 国土交通省：「長期修繕計画作成ガイドラインコメント 平成20年6月 令和6年6月改訂」を参考とした

※2 防食構造Ⅲ（地盤工学会基準）は、河岸や湖岸、河川施設等の水際環境や沿岸や湾岸施設等の塩分環境、温泉地帯等の強酸性地盤環境等※7で長期間使用する防食レベル

※3 試験例、竹本ら：スパイラル筋で補強したグラウンドアンカーの現場引抜き試験（その1,2）、第55回地盤工学研究発表会、2020

※4 付着切れとは、テンドンとグラウトとの付着が切れる場合により発生する（（公社）地盤工学会：地盤工学会基準『グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2012）』）

※5 従来工法について供用期間50年で補修を最低1回行うと仮定した場合の試算例

※6 令和5年4月時点

※7 酸性地盤環境では使用する注入グラウトを含めたアンカー体の劣化について検討が必要となる



サンスイ・ナビコ 株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番地1号 2F

TEL: 03-5623-3600 FAX: 03-5623-5554

問い合わせ先
技術開発部

E-Mail: info@sansui-n.com

HP: https://www.sansui-n.com/

